

令和 6 年 度
事 業 報 告 書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

概 要	1
事業一覧	2
公1 産業創出支援	3
1 創業環境向上支援事業	3
2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業	4
3 地域創生起業支援事業	6
4 新成長産業戦略的育成事業	7
5 医療機器産業基盤強化推進事業	10
公2 経営基盤強化	11
1 中小企業支援センター事業	11
2 下請振興等事業	12
3 しずおか産業創造プラットフォーム事業	14
4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	14
5 中小企業 I o T 活用促進事業	15
6 産業成長戦略推進事業	16
7 経営革新計画支援事業	16
8 中小企業脱炭素化推進事業	17
9 高度化資金貸付診断等事業	18
10 設備貸与事業	19
11 設備資金貸付事業	19
公3 科学技術研究開発支援	20
1 産学官技術交流促進事業	20
2 地域ビジネス応援事業	21
3 成長型中小企業等研究開発支援事業	21
公4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	22
1 食品産業振興事業	22
2 食品産業人材育成事業	25
3 化粧品産業振興事業	25
4 ヘルスケア産業振興事業	26

令和6年度 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

＜概要＞

令和6年度の県内経済を概観すると、為替相場の大幅な変動や不安定な海外情勢に加えて、慢性化する人手不足、原材料や燃料価格の高騰などの影響もあり、特に中小企業にとっては厳しい経営環境が続いている。こうした中、県内企業が他社との差別化を図り、高付加価値事業を創出できるよう、産業財団は静岡県と連携して、人材育成、研究開発支援、設備投資促進、販路開拓に関する各事業を展開し、中小企業の取組を後押しした。

このうち主要事業について言及すると、研究開発等助成事業では、助成案件の事業化までの成功確率を高めるため、技術コーディネーターを中心に新規優良案件の発掘に注力するとともに、応募前の事前相談の義務化など、制度面での運用改善を図った。

下請振興事業では、専門調査員や職員が企業訪問して発注案件の開拓と取引あっせんに努め、当初契約額で前年度を大幅に上回る受注につなげることができた。

このほか、東海5県合同、山梨県、神奈川県とそれぞれ広域商談会を開催し、多くの受注案件を獲得できた。引き続き、金融機関等と連携して、これら商談会の定着を図る。

一方、令和4年度から開始した脱炭素化推進事業では、県内で不足する脱炭素の専門家確保対策として、技術士やエネルギー管理士等を対象とした現場実習型の研修会を開催した。

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクトでは、未利用食材のアップサイクル事業やヘルスケアビジネスなど、静岡ウェルネスプロジェクトへの発展的継承を見据えた事業に着手した。

以上、令和6年度は不透明な経済情勢に的確に対応しつつ、中核となる主要事業の深化と新規事業の成長を図りながら、ほぼ計画どおりに事業を実施し、一定の成果を上げることができた。

＜決算総括＞

令和6年度の経常収益は全体で1,100,661千円となり、前年度と比較して64,924千円の減、経常費用は1,101,131千円で、前年度と比較して83,253千円の減となった。

当該年度の収益・費用の増減要因をみると、県の研究開発助成費等が1億円超減少したことに伴う収益・費用両面の減少幅が大きくなっている。その他、費用面では、賃借料やベースアップを含めた人件費が伸びた一方、産業財団が参画する共同研究開発が年度途中で中小企業庁や県の大規模補助事業に採択され、当財団が事業管理機関として受領する補助金も大幅増となった。

この結果、当期の経常増減額はマイナス470千円となり、マイナス幅は前年度比で18,328千円減少した。当期経常外増減額では固定資産除却損を計上し、マイナス1,286千円となった。

最終的に、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額はマイナス1,756千円となり、前年度と比較してマイナス幅は15,619千円減少した。

令和6年度事業一覧（決算額）

I 公益事業

1,079,113

単位：千円

公1 産業創出支援	467,259	創業支援	1 創業環境向上支援事業	12,065
			2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業	13,379
		創業資金支援	3 地域創生起業支援事業	56,827
			新分野開拓	4 新成長産業戦略的育成事業
		5 医療機器産業基盤強化推進事業		100,790
				共通
公2 経営基盤強化	295,394	経営支援	1 中小企業支援センター事業	89,820
			2 下請振興等事業	65,442
			3 地域企業オープンイノベーション促進支援事業	5,717
			4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	12,409
			5 中小企業DX・IoT活用促進事業	12,659
			6 産業成長戦略推進事業	5,975
			7 経営革新計画支援事業	21,796
			8 中小企業脱炭素化推進事業	31,019
		経営等診断	9 高度化資金貸付診断等事業	19,216
			設備支援	10 設備貸与事業
		11 設備資金貸付事業		1,192
				共通
公3 科学技術研究開発支援	149,216	1 産学官技術交流促進事業		29,954
		2 地域ビジネス応援事業		584
		3 成長型中小企業等研究開発支援事業		114,621
		共通		4,057
公4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	154,030	1 食品産業振興事業		76,941
		2 食品産業人材育成事業		2,375
		3 化粧品産業振興事業		19,098
		4 ヘルスケア産業振興事業		47,341
		共通		8,275
		公益目的共通		13,214

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

※ () 内は、前年度正味財産増減計算書額
事業費 1,079,113 千円 (1,167,904 千円)

公 1 産業創出支援

事業費 467,259 千円 (584,459 千円)

- 創業支援、ベンチャー創出
- 新分野の開拓支援（成長産業分野への参入支援）

創業者や新事業に挑戦する事業者が直面する経営課題への相談対応、ベンチャー創出や新分野開拓支援など、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業環境向上支援事業

事業費 12,064,760 円

創業を目指す者への相談対応や創業者の事業立上げ後の経営サポートを行った。また、支援ノウハウなどの少ない市町などが行う創業支援事業をバックアップするなど、県内での創業環境の向上に努めた。

(1) 創業者向け講演会、創業スキルアップサロン

成長志向を持つ創業者を対象に、事業計画作成や磨き上げのための講演会を開催した。これと併せて、創業者が抱える経営課題や事業計画等に対してメンター（先輩起業家）が助言を行った。

- ・開催回数 4 回（参加者の評価 平均満足度 4.41（5 点満点））
- ・テーマ 先輩経営者の成功と失敗から知る「ビジネスの継続」に必要なこと。

開催日	会場	参加者	講演（講師）	メンターサロン（メンター）
R7. 1. 22	静岡 市内	4 人	(株)イシダテック 代表取締役 石田 尚 氏	(株)イシダテック 代表取締役 石田 尚 氏 中小企業診断士 竹島 寿夫 氏
R7. 1. 24	沼津 市内	4 人	(株)スマートステイ 代表取締役 足達 聖也 氏	(株)スマートステイ 代表取締役 足達 聖也 氏 中小企業診断士 竹島 寿夫 氏
R7. 1. 28	浜松 市内	5 人	(株)filments 代表取締役社長 深瀬 泰宏 氏	(株)filments 代表取締役社長 深瀬 泰宏 氏 中小企業診断士 大橋 昌弘 氏
R7. 1. 30	静岡 市内	3 人	(株)イシダテック 代表取締役 石田 尚 氏	(株)イシダテック 代表取締役 石田 尚 氏 中小企業診断士 大橋 昌弘 氏

(2) 創業支援機関ネットワーク会議

創業支援機関相互の連携強化を目的に「創業支援機関ネットワーク会議」を開催した。

- ・開催回数 1 回（R7. 3. 19 オンライン開催）参加者 54 機関、57 人
- 国や県の創業関連施策の説明、事例報告（支援機関、創業者）

(3) 創業支援担当者研修

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当者を対象に、創業相談関連の知識習得を目的とした研修会を開催した。

- ・開催回数 4 回（参加者評価 平均満足度 4.3 点（5 点満点））

開催日	テーマ	講師	参加者
R6. 5. 10	創業支援担当者に必要な事 知識編	中小企業診断士 竹島 寿夫 氏	35 人
R6. 6. 7	創業支援担当者に必要な事 技術編	中小企業診断士 竹島 寿夫 氏	29 人
R7. 2. 3	【「地域課題」×「スタートアップ」】を考えよう	まきのはらインキュベーションセンター 代表 出縄 良人 氏 静岡銀行地方創生部課長 井出 雄大 氏	19 人
R7. 3. 25	【3つの資金調達】を知ろう	(株)CAMPFIRE 地域共創推進チーム マネージャー 橋本 尚也 氏 日本ベンチャーキャピタル(株) ベンチャーキャピタリスト 大西 有佳里 氏	31 人

(4) 市町等への個別支援

各市町等が開催するセミナーや創業相談会の実施に関する助言のほか、市町が主催するセミナーに産業財団職員を講師や相談員として派遣するなど、各市町の取組を支援した。

支援内容	件数
情報提供・情報交換等	38 件
具体的支援（講師派遣、個別相談対応等）	6 件
市町等の創業支援事業に対する助言（講師紹介等）	18 件
会議等	4 件
計	66 件

(5) 創業施策情報提供

創業関連支援策に関する情報をホームページやメールマガジンで配信した。

- ・実施回数 メールマガジン配信 2 回/月

2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業

事業費 13,378,790 円

県内理系大学の高度技術や研究シーズを発掘して県内企業とのマッチングにつなげるなどして、次代の県内産業を牽引する大学発ベンチャーの創出に取り組んだ。

(1) 静岡県内大学発ベンチャー支援協議会の運営

大学発ベンチャーを創出するため、県と産業財団及び県内 16 大学等関係者で構成する支援協議会を運営し、ベンチャー支援活動に関する大学間での情報共有を図った。

(2) コーディネーターによるマッチング支援、ラウンドテーブルの開催

コーディネーターを 2 人配置し、大学研究者と県内企業をつなぐマッチングを行った。具体的には、県内企業を訪問して潜在ニーズを掘り起こし、それに相応しい大学研究者への橋渡しや、大学の研究シーズを分かりやすく翻訳して県内企業に情報として提供した。

また、コーディネーターの働き掛けで、大学の研究者と県内企業が一同に会する「ラウンドテーブル」を開催し、研究者のシーズ検証や意見交換を通じて両者のマッチングを行った。加えて、これを両者の学術指導や共同研究開発につなげる仕掛けとして、共同研究等促進支援助成金で支援した。

○ラウンドテーブル 開催回数 6 回

開催日	内 容	参加者
R6. 9. 3	テーマ 2 次元切削による切削現象の解明 講師 静岡大学 工学部機械工学科 静 弘生 准教授	11 社 14 人
R6. 9. 17	テーマ 生物機能を利用したバイオテクノロジー 講師 静岡大学 農学部応用生命科学科 加藤 竜也 教授	10 社 11 人
R6. 9. 24	テーマ 低アルコール産生酵母を利用した新しい発酵食品開発の試み 講師 静岡大学 農学部応用生命科学科 木村 洋子 教授	15 社 17 人
R6. 10. 21	テーマ IT 企業のエンジニアやプロジェクトマネージャーが職場で不満を認識するプロセス 講師 常葉大学 経営学部経営学科 近藤 秀和 准教授	10 社 13 人
R6. 11. 14	テーマ 原料粉末の集積化技術に基づく材料開発 講師 沼津工業高等専門学校 機械工学科 横井 敦史 准教授	6 社 7 人
R6. 12. 20	テーマ 表面機能・特性の向上による工業材料の高付加価値化 講師 静岡理工科大学 理工学部 機械工学科 吉見 直人 教授	11 社 21 人

○共同研究等促進支援助成

- ・共同研究契約 3 件（助成額 908 千円）
- ・学術技術・指導契約 1 件（助成額 136 千円）

(3)ベンチャーの発掘、育成支援

民間アクセラレーター（株）リバネス）が行う、大学の研究者やベンチャーを発掘・育成する創業応援プログラムをバックアップするため、同プログラムで構築するエコシステムに地域パートナーとして参画した。

○静岡テックプランター事業 静岡テックグランプリの開催（R6. 7. 6）

発表者 9 チーム（ファイナリスト）

- ・最優秀賞 風水害リスクフォアキャスター（豊橋技術科学大学）
テーマ 気象データを活用した事業障害リスクの可視化
- ・静岡県内大学発ベンチャー支援協議会賞 スペクトラムガーディアンズ（静岡大学）
テーマ マイクロ分光器を活用した茶葉の品質評価

■ 静岡発ベンチャー発掘・育成事業（実績）

- ・産学のマッチング件数 34 件 うち成立 9 件
(共同研究契約 5 件、学術指導契約 3 件、その他 1 件)

- ・大学発ベンチャー設立支援 8 件 うち会社設立 2 件

3 地域創生起業支援事業

事業費 56,827,170 円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を促すため、起業に係る事業費の一部を補助するとともに、専門家による伴走支援を行った。

(1) 起業支援金

○対象事業 地域課題の解決に資する社会的事業等

○対象分野 子育て支援、保健・医療・福祉、防災・減災、まちづくり等 (単位：千円)

	申請		交付決定		助成実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一次募集	46	72,452	22	36,659	20	29,869
二次募集	17	22,310	10	11,538	10	10,970
計	63	94,762	32	48,197	30	40,839

(2) 伴走支援

創業者に中小企業診断士を派遣し、経営に関する相談対応を行った。

・実施回数 延べ 57 回

(3) セミナー開催

・申請者を対象にしたセミナーを 2 回開催した。

開催日 1 回目 R6.5.9、2 回目 R6.7.29

テーマ 事業計画策定セミナー (会場・アーカイブ配信)

講師 中小企業診断士 竹島 寿夫 氏

参加者 1 回目 27 人 (アーカイブ配信視聴数 228 回)

2 回目 6 人 (アーカイブ配信視聴数 104 回)

・過年度採択の起業家も対象に含め、起業家の事業拡大、安定経営の実現とネットワーク構築を目的に、ステップアップセミナーを 2 回開催した。

開催日 1 回目 R6.7.11、2 回目 R6.9.13

テーマ 創業者向け経理基礎セミナー「経理処理のいろは、インボイス制度とは」

講師 税理士 白鳥 久美子 氏

参加者 1 回目 18 人、2 回目 10 人

■ 過年度採択者の経営状況 (令和 5 年度の経営実績)

・令和 2 年度 36 事業者

売上計 約 6 億 3,662 万円、年度末従業員数 128 人

・令和 3 年度 37 事業者

売上計 約 4 億 9,908 万円、年度末従業員数 125 人

・令和 4 年度 37 事業者

売上計 約 5 億 615 万円、年度末従業員数 64 人

4 新成長産業戦略的育成事業

事業費 278,065,914円

県が定める新たな成長分野（次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、新エネルギー、環境技術関連、CNF）への中小企業の参入を促すため、同分野に関する情報提供や啓発、技術支援、研究開発・試作品支援、事業化・販路開拓支援等に関する事業を行った。

(1) 成長産業分野への参入促進（成長産業販路開拓事業）

分野	事業区分	事業内容
次世代自動車	展示会出展	○学生フォーミュラ日本大会2024に静岡県ブースを出展 ・R6. 9. 12～14、愛知県国際展示場 ・共同出展 7 社
医療・福祉機器	参入促進	○医工連携スタートアップ支援事業 ・医工連携関連アイデアの実現性を検証 ・採択 5 社 ・はままつ医工連携拠点に委託
	展示会出展	○医工連携出会のサロン ・第8回日本リハビリテーション医学会併設の展示会に出展 ・R6. 11. 1～3、岡山コンベンションセンター ・共同出展 5 社 1 団体 ・はままつ医工連携拠点に委託
		○Medtec JAPAN 2024 への共同出展 ・R6. 4. 16～19、東京ビッグサイト ・共同出展 10 社・2 団体
ロボット	セミナー 工場見学	○ロボット産業参入セミナー ・R6. 12. 12 グランシップ、参加者 44 人 ・講演 立命館大学 玄相晃 教授、(株)Doog、三明機工(株) ○工場見学 ・R6. 10. 25 ヤマハ発動機(株)ロボティクス事業部
	ビジネス マッチング	○三菱電機(株)名古屋製作所 ・ミニ展示会（R6. 12. 23、三菱電機(株)名古屋製作所内） 参加企業 13 社、三菱電機関係者 116 人
	展示会出展	○Japan Robot Week 2024への共同出展 ・R6. 9. 18～9. 20 東京ビッグサイト ・共同出展 5 社
航空宇宙	展示会出展	○2024 国際航空宇宙展 ・R6. 10. 16～19、東京ビッグサイト ・共同出展 16 社 ・浜松商工会議所に委託

(2) EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業名	事業内容
コーディネーター配置	○コーディネーター 2人配置 ・企業訪問 269 件（うち新規 65 件）
展示会出展	○人とくるまのテクノロジー展 2024 出展 ・R6. 5. 22～24、パシフィコ横浜 ・共同出展 6 社
データベース運営	○中小メーカーの技術情報とりまとめ、大手サプライヤー向け発信 ・冊子やホームページに掲載した企業情報の更新 ・掲載企業 42 社、発行部数 300 部

(3) 静岡型航空産業育成事業

航空機産業への新規参入促進、受注活動の拡大や技術の高度化を図るとともに、MRO（整備・修理・オーバーホール）関連産業の育成を図った。

事業名	事業内容																																			
中核人材育成	○航空宇宙産業の中核を担う人材育成 ・座学 R6. 11～R7. 1 月（7 回）、工場見学 R7. 2. 6、実習 R7. 1. 28・29 ・見学 ウイングフィールド(株)、川崎重工業(株) 岐阜工場 ・実習 ポリテクカレッジ浜松 ・受講者数 6 社 8 人 ・浜松商工会議所に委託																																			
航空機産業認証取得助成	○国際規格等の認証取得への助成 ・補助率 1/2（限度額 JISQ 9100(3, 000千円)、Nadcap（5, 000千円） ・期間 原則 2 か年計画 <table><tr><td>区分</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R 元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>企業指定件数</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>認証取得件数</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>									区分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	企業指定件数	2	2	1	2	2	1	2	1	認証取得件数	2	0	2	1	2	2	1	1
区分	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6																												
企業指定件数	2	2	1	2	2	1	2	1																												
認証取得件数	2	0	2	1	2	2	1	1																												
設備投資・高度人材育成事業費補助	○設備投資への助成 ・補助率 1/2（限度額 15, 000千円）、期間 1年以内 ・助成件数 3 件 ・合計助成額 30, 931 千円 ○高度人材育成 ・補助率 1/2（限度額 1, 000千円）、期間 1年以内 ・助成件数 4 件 ・合計助成額 3, 742 千円																																			
専門家によるマッチング	○専門家（重工 0B 等）による重工メーカーと県内企業のマッチング支援 ・訪問件数 111 件、見積件数 837 件																																			
空飛ぶクルマビジネスマッチング	○空飛ぶクルマメーカーによるニーズ説明会 ・R6. 11. 5 ホテルクラウンパレス浜松 ・参加者 211 人 ○空飛ぶクルマメーカーと県内企業とのマッチング支援 ・R7. 2. 6 愛知県名古屋空港会議室 ・参加企業 7 社																																			

■ 展示会出展企業の商談状況（半年後の実績）

展示会名	出展社	商談中(見積・図面等依頼)	商談協議後日訪問	成約件数(試作含む)	当初契約額(単位:千円)
Medtec Japan2024	10社	15	9	1	198
国際航空宇宙展 2024	16社	31	100	13	(機密保持)
人とくるまのテクノロジー展 2024	6社	2	8	1	500
Japan Robot Week 2024	5社	3	1	7	1,970

<参考> 令和5年度に出展した展示会（1年後の実績）

展示会名	出展社	商談中(見積・図面等依頼)	商談協議後日訪問	成約件数(試作含む)	当初契約額(単位:千円)
Medtec Japan2023	10社	4	0	4	20,233
エアロマート名古屋 2023	4社	9	5	1	(機密保持)
人とくるまのテクノロジー展 2023	6社	0	0	9	12,029

(4)リーディング産業育成事業（助成事業）

新たな成長産業分野等への参入を目指す中小企業等が実施する研究開発、試作品支援、事業化・販路開拓等に対して助成した。

○研究開発に対する助成

事業名	事業内容
研究開発助成 (産学官連携型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的に大学や県内公設試験研究機関と連携して行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 10,000 千円(2年間で計 20,000 千円)) ・申請件数 13 件、うち助成件数 8 件、助成額 53,080 千円
研究開発助成 (一般型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的に行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 5,000 千円) ・申請件数 12 件、うち助成件数 9 件、助成額 34,607 千円
研究開発助成 (プロジェクト間連携型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的にプロジェクト間で連携して行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 15,000 千円(2年間で計 30,000 千円)) ・申請件数 4 件、うち助成件数 3 件、助成額 15,229 千円

○事業化に対する助成

事業名	事業内容
事業化推進助成 (一般型)	○成長分野に関する研究成果を事業化につなげるための更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 15,000 千円(2年間で計 22,500 千円)) ・申請件数 4 件、うち助成件数 4 件、助成額 32,823 千円
事業化推進助成 (プロジェクト間連携型)	○研究成果を事業化につなげるため、プロジェクト間連携で更なる研究開発を行う事業者を募集した。 ・補助率 1/2 (限度額 20,000 千円(2年間で計 30,000 千円)) ・申請件数 0 件
先端企業育成プロジェクト事業化推進助成	○先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）採択企業を対象に、事業化に向けた更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 15,000 千円(2年間で計 22,500 千円)) ・助成件数 2 件、助成額 15,250 千円
試作品開発助成 (次世代自動車・CNF)	○E V化の潮流に対応して自社の技術力を広く情報発信するための試作品製作に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 3,000 千円)、期間 1 年以内 ・申請件数 1 件、うち助成件数 1 件、助成額 3,000 千円 ○CNFを活用した試作品の製作を行う事業に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 3,000 千円)、期間 1 年以内 ・申請件数 1 件、うち助成件数 1 件、助成額 570 千円

■ 補助金交付事業の進捗状況（令和5年度末時点）

(売上単位：千円)

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止/中断	上市	その他	補助年度後5年間の売上
研究開発助成	R2	8	5	0	2	1	978
	R3	7	4	1	1	1	990
	R4	12	9	0	1	2	10,000
事業化助成	R2	7	3	2	1	1	24,358
	R3	8	1	0	5	2	135,096
	R4	5	0	0	2	3	14,500

(5)先端産業創出プロジェクト革新技術創出事業

○新技術シーズ開拓推進事業

新技術シーズ開拓推進員を配置し、先端産業創出プロジェクト革新技術創出補助金などの対象案件を掘り起し、補助金申請に向けて事業計画のブラッシュアップを図った。

- ・活動日数 年間 20 日
- ・企業訪問件数 25 件

○先端産業創出プロジェクト革新技術創出補助金の事業管理

間接補助先	テーマ	連携機関
(株)インダテック (焼津市)	A I による冷凍魚選別・品質評価に向けた水産データの活用 (1 年目/2 年間)	静岡県海洋水産技術研究所 筑波大学 東京海洋大学 焼津漁業協同組合

5 医療機器産業基盤強化推進事業

事業費 100,790,392円

医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資とその後の事業化に向けた取組までを一貫支援し、県内中小企業の医療健康産業など「命を守る産業」への参入を後押しした。

事業名	事業内容
医療機器産業基盤強化推進事業	○医療健康産業参入に向けた初期投資と事業化までの一連の取組に対して助成した。 ・申請件数 11 件、うち助成件数 10 件、助成額 84,913 千円 ○内訳 初期投資助成 ・補助率 2/3 (限度額 20,000 千円) ・助成件数 4 件 研究開発・事業化助成 (1、2 年目) ・補助率 1/2 (限度額 10,000 千円) (2 年目採択企業は改正前制度により、補助率 2/3) ・助成件数 6 件

■ 補助金交付事業の進捗状況 (令和 5 年度末時点)

(売上単位：千円)

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止/中断	上市	その他	補助年度後 5 年間の売上
医療機器等助成	R2(初期)	11	0	1	5	5	16,700
	R3(初期)	8	5	1	1	1	28,560
	R3(事業化)	2	2	0	0	0	0
	R4(初期)	6	3	0	3	0	38,357
	R4(事業化)	3	0	0	2	1	8,378

公2 経営基盤強化

事業費 295,394 千円 (307,082 千円)

- 経営支援（中小企業支援センター運営、下請振興、中小企業の生産性向上等）
- 中小企業脱炭素化推進
- 経営等診断（地域経済牽引事業計画や経営革新計画の作成支援、高度化資金貸付診断）
- 設備導入支援（設備貸与、振興貸与、設備資金貸付事業の債権管理）

中小企業が抱える課題解決に向けた相談や専門家の派遣、経営革新等の取組に対する支援、下請中小企業への受注機会の提供や取引条件の改善支援を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 89,820,391 円

中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして、中小企業の経営課題や資金調達などの各種相談に対応した。

(1) 他の支援機関との連携

情報交換や事業連携のため、県内支援機関等との連携会議を開催した。また、ブロック単位の支援機関が開催する会議への参加、県内支援機関が開催する連携会議に参加し情報収集等を行った。

- ・ 県内支援機関等との情報交換、事業連携等会議の開催 1 回

R6.7.17 参加 38 機関、47 人出席

静岡県・産業財団・各支援機関からの情報提供、静岡理工科大学静岡キャンパスの見学

(2) 支援体制の整備

創業者や中小企業が抱える課題解決を支援する専門家の登録募集を行った。また、センターに事業担当職員を配置して、支援先企業の訪問、他支援機関と連携して新規支援先を発掘した。

- ・ 専門家の年度末登録者数 504 人

(年度当初登録 482 人、年度中新規登録 66 人、年度中更新による減 44 人)

(3) 専門家の派遣

中小企業等が抱える課題を解決するため、派遣申請に基づいて登録専門家を派遣した。

また、ISO の認証取得を目指す企業に対し、長期（1 企業 10 回予定）に専門家を派遣し、認証取得の支援を行った。

- ・ 補助率 派遣経費の 2/3（1/3 は企業負担）

区分	事業計画・ISO	労務管理	販路開拓	その他	合計
企業数（社）	191	40	97	64	392
派遣回数	883	182	427	274	1,766

(4) 支援センター管理費事業（職員育成）

中小企業支援に係る研修への派遣を通じて職員の専門的知識・スキルを高め、相談体制の強化を図った。また、ISO を認証取得している又は認証取得しようとする中小企業や職員を対象に、ISO 内部監査員を育成する講座を開催した。

- ・ ISO 講座開催 ISO 9001 コース 20 社、31 人

■ 専門家を利用した企業の満足度調査 ※4.5 点の割合/5 点満点（単位：％）

	令和 6 年度	令和 5 年度
態度、姿勢、話し方	96.4	96.4
助言等の内容	94.7	97.6
助言等の進め方	94.1	96.1

<課題についての解決状況>

課題を解決できた	45.2	37.4
課題を概ね解決できた。一部、残課題あり	51.2	59.3
次年度も専門家派遣を利用する意向	61.0	61.1

2 下請振興等事業

事業費 65,442,208 円

取引あっせんや商談会を開催して受注機会の拡大を図ったほか、発注先企業を対象とした講習会や窓口相談を通じて下請取引の適正化を図った。

(1) 支援体制の構築

効率的に取引あっせんを進めるため、企業検索支援サイト「静岡県ものづくり企業ナビ」に掲載する企業数を充実させ、取引先開拓業務の円滑化を図った。また、全国・ブロック単位の会議に参加し、取引あっせんの広域化を図るための情報収集などを行った。

・「静岡県ものづくり企業ナビ」登録企業数 595 社

(2) 窓口相談

下請取引に係る苦情相談対応を行ったほか、下請取引に係る法律相談日を設けて顧問弁護士による助言を行った。

・顧問弁護士による無料法律相談日（原則、毎月第2月曜日×12か月）

相談実績 契約・取引1件、損害賠償1件

・下請かけこみ寺相談員による相談件数

下請法関係		下請法以外	
受領拒否	2 件	債権回収	52 件
支払遅延	2 件	契約・取引	62 件
代金減額	4 件	損害賠償	13 件
返品	0 件	会社経営	1 件
買ったたき	13 件	その他	59 件
その他	39 件		
計	60 件	計	187 件

(3) 訪問開拓による取引あっせん

県内外の大手・中堅企業127社を訪問し、90件の新規発注案件を開拓した。また、173件のあっせん紹介等により、56件の成立を支援した。

		令和6年度	令和5年度
登録企業数	発注企業	755	758
	受注企業	3,080	3,056
発注申出件数		90	108
（うち専門調査員）		37	45
受注申出件数		45	57
あっせん紹介件数		173	251
あっせん紹介 結果	成立	56	74
	不成立	80	231
	折衝中	415	388
契約成立当初受注金額		773,160 千円	28,376 千円
※発注開拓訪問企業件数 （うち専門調査員）		127 (106)	125 (111)

(4) 広域合同商談会

○山梨・静岡 連携ものづくり商談会 ※半年後調査の実績

(単位：千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R6. 7. 23	アイメッセ山梨 (山梨県)	93 社	205 社 (県内 115 社)	対面 451 件 WEB 114 件	継続 4 件 スポット 4 件	1,788 881
R5 開催分 (1 年後調査)					11 件	6,100

○マッチングフェア in なごや (東海 5 県合同) ※半年後調査の実績

(単位：千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R6. 10. 17	ウインクあいち (名古屋市)	144 社	552 社 (県内 74 社)	対面 868 件 WEB 209 件	継続 3 件	7,494
R5 開催分 (1 年後調査)					継続 6 件	8,210

○しずおか・かながわ広域商談会

(単位：千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R7. 2. 20	プラザヴェルデ (沼津市)	50 社	158 社 (県内 107 社)	対面 423 件 WEB 35 件	—	—
R5 開催分 (1 年後調査)					継続 8 件 スポット 6 件	2,177 43,321

(5) 技術提案型展示商談会 ※半年後調査の実績

(単位：千円)

開催日	相手先企業	参加企業	見積依頼件数	商談成立件数	当初契約額
R6. 7. 26	日機装(株) (東京都)	17 社	2 件	0 件	0

(6) 機械要素技術展 (第 29 回) 共同出展

多数の集客が期待できる首都圏の大規模展示会に共同出展した。※半年後調査の実績 (単位：千円)

開催期日	会場	出展者数	見積依頼件数	商談成立件数	当初契約額
R6. 6. 19～21	東京ビッグサイト	13 社	29 件	9 件	23,785
R5 開催分 (1 年後調査)		14 社	6 件	14 件	7,351

(7) 下請取引適正化講習会開催

親事業者及び下請事業者を対象に、下請中小企業振興法及び下請代金支払遅延等防止法についての講習会と物価高騰等による価格転嫁の交渉支援セミナーをオンライン併用で開催した。

開催日	講師	参加者
R6. 7. 26	関東経済産業局、公正取引委員会中部事務所	93 人 (会場 29 人)
R6. 9. 25	関東経済産業局、静岡県よろず支援拠点	75 人 (会場 16 人)

(8) 情報支援事業

各種施策に関する HP での発信やメールマガジン発行、相談窓口での経営資料の提供・閲覧、視聴覚教材 (DVD) の貸出等を行った。

- ・ホームページへのアクセス数 77,808 回、DVD の貸出 8 件 36 本
- ・メールマガジンの発行 24 回 (月 2 回)、延べ 50,219 人 (2,093 人/回)

また、相談窓口情報相談員を配置するとともに、毎週水曜日、静岡県中小企業診断士協会との連携に基づいて派遣された中小企業診断士を相談窓口配置し、創業や経営相談に対応した。

(単位：件)

取引相談	経営全般	資金調達	マーケティング	法律・労務・税務	技術	ビジネスプラン	事業提携会社設立	省エネ ISO	特許	その他	合計
386	224	310	231	252	401	140	134	7	10	266	2,361

3 しずおか産業創造プラットフォーム事業

事業費 5,717,579 円

県内で新たな事業に取り組む企業等を対象に、国や県の支援情報を一元的に発信するとともに、会員同士が相談や交流を行えるオンラインコミュニティを運営した。

- ・ランディングページ

検索データベースへの補助金募集情報等の掲載件数 161 件、閲覧数 115,459 件

- ・コミュニティサイト

登録者数 1,072 人、累計アクセス数 36,442 件

4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業

事業費 12,408,758 円

製造現場での改善活動（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進する企業内リーダーを養成する「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」を開催した。

○スクールの概要

- ・期間 全 18 回（R6. 8. 23～11. 15）

- ・受講者数 17 人（企業現役 15 人、産業支援機関 2 人）（受講料 20 万円/人）

○講義

- ・東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指す、現場改善手法や現場管理手法等の理論を学習した。

- ・講師陣 國方、仲田、山本、小楠、柴田、飯田、高橋、雨川、野毛、須山

回	日程	内容
1	R6. 8. 23	ものづくり基礎概念、良い流れを作る現場の見方
2	R6. 8. 30	VSM の基礎、VSM 作成演習
3	R6. 9. 6	生産性向上、良い流れを作る在庫管理、良い流れを作るレイアウト、良い流れを作る品質管理
4	R6. 9. 13	工程分析と作業改善、時間分析、グループテクノロジー
5	R6. 9. 20	7つのムダ、IE ムダな作業をなくす考え方、良い流れを作る生産
6	R6. 9. 27	IoT、ロボット導入ポイントと導入事例、IoT や AI の導入と取組事例の成果、日程管理、リーダー・リーダーシップ
7	R6. 10. 4	中小企業の実例、平準化生産、5S・5定、改善後の VSM
8	R6. 10. 11	分析ツールの使い方、現場実習事例、現場実習の進め方

○現場実習、成果発表

- ・現場実習 県東部の製造業 3 社

- ・内容 受講者を 3 グループに分け、中小製造業 3 社の現場で工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を習得した。

- ・講師 高橋、飯田、雨川

回	日程	内容
9	R6. 10. 17	経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定
10	R6. 10. 18	現場実習 現場担当者へのヒアリング、「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、レイアウトの見直し、一部改善の実践 等
11	R6. 10. 24	
12	R6. 10. 25	
13	R6. 10. 31	
14	R6. 11. 1	
15	R6. 11. 7	
16	R6. 11. 8	
17	R6. 11. 14	チーム改善提案（実習先企業）
18	R6. 11. 15	チーム改善発表（沼津トラストビル会議室）

○現場実習先で想定される改善成果

A社（プラスチック部品成形）

- ・改善実施項目 レイアウト見直し
- ・想定される改善効果 作業スペース 33㎡削減、組立工程の作業人員 20%削減

B社（ジュエル製品製造）

- ・改善実施項目 レイアウト見直し、リードタイム短縮、中間在庫削減
- ・想定される改善効果 運搬導線 93%削減、リードタイム 26%削減、中間在庫 76%削減

C社（産業用機械部品製造）

- ・改善実施項目 レイアウト見直し、リードタイム短縮
- ・想定される改善効果 デッドスペースの有効活用、リードタイム 1.5 か月短縮

5 中小企業 I o T 活用促進事業

事業費 12,658,771 円

(1) IoT 大学連携講座

産学官連携の組織「静岡県 IoT 導入推進コンソーシアム」を核に静岡大学や県工業技術研究所と連携し、講座と IoT 実践演習を行った。

また、専門家のサポートの下、演習で利用した IoT 機器を自社の製造現場に導入した。

○IoT 大学連携講座

区分	項目	内容
第1部	技術知識講座 (WEB 開催)	○IoT 環境構築のための技術知識講座 (R6. 6. 7 開催) ・参加者 40 社・団体 51 人 ・テーマ① IoT とは？IoT システムアーキテクチャー、IoT に求められる機能・スキル 講師 静岡大学情報学部 峰野 博史 教授 ・テーマ② IoT の高度化、ビッグデータと AI の活用事例 講師 静岡理工科大学総合技術研究所 工藤 司 客員教授
第2部	現場実装講座	○静岡会場 8 社・1 団体 11 人 (県工業技術研究所) ・実習 R6. 7. 5、現場実装 7/ 上旬～9/ 下旬、発表会 R6. 10. 25 ○浜松会場 9 社 2 団体 14 人 (浜松工業技術支援センター) ・実習 R6. 9. 13、現場実装 9/ 中旬～1/ 中旬、発表会 R7. 1. 21 ○沼津会場 4 社 1 学校 6 人 (沼津工業技術支援センター) ・実習 R6. 10. 1、現場実装 10/ 上旬～2/ 上旬、発表会 R7. 2. 13
	IoT サポート 専門家による 現場実装支援	・㈱叢雲堂 池谷隆典 サポート企業 6 社 ・Re-CreSor Labo 北野幹夫 サポート企業 3 社 ・Ichikawa IT Produce 市川直哉 サポート企業 6 社 ・愛和システムソリューションズ 和栗正昭 サポート企業 1 社 ・RF アンテナ 原賀浩太郎 サポート企業 4 社・2 研究機関

(2) ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー事業

ICT 人材育成に関する施策の立案・調査や、ICT に関する企業の技術力向上を図るため、ICT 人材の確保、育成を総合的に推進するプロデューサー 1 人を配置した。

- ・ICT 活用、DX 等の動向調査
- ・県が実施する DX 関連講座の企画・運営
- ・若手層向けの取組支援 (ジュニアプロコンなど)
- ・イノベーション拠点 SHIP のコーディネート

(3) 中小企業DX化支援事業

中小企業にとって管理部門の生産性の低さが重要課題となっているため、バックオフィスの業務改善を対象にセミナー等を開催して関心のある企業を掘り起こした。

- ・ R6. 9. 6 バックオフィス業務改善キックオフセミナー 参加者 51 人
(講師 中小機構、(株)イシダテック、トライビュー・イノベーション(株))
- ・ R6. 10. 4 座談会 (業務改善に課題や悩みのある企業を対象とした情報交換会) 7 社

6 産業成長戦略推進事業

事業費 5,975,424円

(1) 販売戦略構築支援

○販売戦略サポート委員会

新規開発した商品の販路などに課題を抱える企業経営者や事業責任者に対し、外部専門家4人が製品づくりや販路開拓に関する実践的な助言を行う委員会を開催した。

開催日	出席企業	製品等
R6. 7. 16	(株)コーヨー化成	スキンケア化粧品「baraio」
R6. 10. 3	(株)スズハル	音階カスタネット Primelo
R6. 11. 19	(株)age-Age corporation	高齢者向けオンライン受診環境の提供「楽薬」
	(有)西島木工所	組子のお皿～楚々～
R7. 1. 30	(株)浜松パルス	業務用空気清浄機「Air Revive」
	(株)マルコーフーズ	骨までまるごとあじの干物

○技術情報交流会

静岡県県先端産業創出プロジェクトに参画する県内企業(約150社)の経営者層を対象として、オープンイノベーションを促進するための交流会を実施した。

- ・ 会場 グランディエールブuketーカイ
- ・ 参加者 経営者層 25 人

(2) 地域経済牽引企業の創出・実行支援

○地域経済牽引企業の策定支援

地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域に高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業」の計画を策定しようとする企業に対して中小企業診断士等を派遣し、計画の作成支援や地域未来投資促進法の支援策(地域未来投資促進税制等)の活用に関する助言を行った。

- ・ 専門家派遣先 3 社
- ・ 産業財団職員派遣先 6 社

○計画の実行支援

地域経済牽引事業計画の実行段階における課題を解決し、着実な計画実行をサポートするため専門家を派遣した。

- ・ 派遣先 2 社

7 経営革新計画支援事業

事業費 21,795,626 円

(1) 経営革新計画承認申請支援

経営革新計画の申請等に関する相談・受付及び調査を行った。また、静岡県と連携して制度の普及・啓発を行った。そのほか、承認企業の実施状況調査分析を行い、計画実現に向けた助言、必要に応じた支援を実施した。

- ・ 計画策定支援(変更を含む) 82 件

(2) 収益力向上補助金伴走支援

中小企業等収益力向上補助金の活用を希望する事業者に対し、伴走支援機関として、応募時から補助事業の実施の期間にわたり、助言や相談対応等の支援を実施した。

- ・ 支援事業者 18 先

8 中小企業脱炭素化推進事業

事業費 31,019,359 円

県内企業の脱炭素化を支援する「企業脱炭素化支援センター」を運営し、相談対応から普及啓発、専門人材の育成等各種支援事業を幅広く実施した。

(1) 相談窓口の設置

- ・業務アドバイザー 3 人（中小企業診断士 2 人、技術士 1 人）、248 件

(2) 静岡県企業脱炭素化推進フォーラムの運営

企業脱炭素化支援センターの有する支援情報等の提供や県内企業の取組事例の共有などを通じて中小企業の脱炭素化を後押しした。

- ・フォーラム会員数 1,134 人

○静岡県企業脱炭素化推進フォーラム

- ・日時 R7.2.10（会場 ホテルグランヒルズ静岡）
- ・内容 講演、事例発表、会員による情報提供を実施
- ・参加者 128 人

○普及啓発セミナー

- ・脱炭素経営をテーマに県内各地で 12 回実施。参加者は延べ 398 人

開催日	対象先	参加者	会場
R6. 6. 27	静岡県バイオテクノロジー研究会	26 人	クーポール会館
R6. 9. 12	沼津商工会議所	80 人	プラサヴェルデ
R6. 9. 25	袋井市	21 人	袋井新産業会館キラット
R6. 9. 26	静岡県・食品技術研究会	75 人	グランシップ
R6. 9. 30	天竜商工会	14 人	天竜商工会
R6. 11. 13	新技術交流イベント in Shizuoka 2024	16 人	グランシップ
R6. 12. 10	静岡市	32 人	静岡商工会議所
R6. 12. 13	静岡商工会議所連合会	41 人	静岡商工会議所
R7. 2. 21	静岡日立産業イノベーションフェア 2025	45 人	グランシップ
R7. 2. 27	浜松いわた信用金庫	10 人	FUSE
R7. 3. 4	脱炭素関連専門家向け研修会	26 人	静岡県産業経済会館
R7. 3. 14	（株）山善 第 45 回静岡どてら市	12 人	ツインメッセ静岡

(3) 人材育成セミナー

○GHG 排出量見える化サービス活用セミナー

脱炭素化のファーストステップとなる「GHG 排出量の見える化」動画を作成して、YouTube で配信した。

- ・配信日 R6.6.7、受講者 380 人
- ・内容 GHG 排出量見える化サービスの紹介等〔アスエネ、C-Turtle、ファーストカーボン、e-dash、ScopeX、EcoNiPass〕、当支援センター事業の紹介

○企業向け CO₂排出量削減計画作成研修

（独）中小企業基盤整備機構中部本部との共催で、CO₂排出量削減計画策定研修を実施した。

区分	研修内容	受講者
製造業向け	CO ₂ 排出量削減計画の基礎、簡易診断シート作成 ・初日 R6.7.10 エネルギー使用量 → CO ₂ 排出量 ・2日 R6.8.7 エネルギー管理状況、削減ポテンシャル、目標設定	13 人
非製造業向け	CO ₂ 排出量削減計画の基礎、簡易診断シート作成 ・初日 R6.7.31 エネルギー使用量 → CO ₂ 排出量 ・2日 R6.9.18 エネルギー管理状況、削減ポテンシャル、目標設定	10 人

○専門家向け現場実習型研修

専門家のスキルアップのため、実際の現場で脱炭素視点での省エネ調査・助言を行う現場実習型研修を実施した。

開催日	内容	受講者
R6. 6. 21	座学研修（診断書の書き方、データ見方、ヒアリング項目）、 現場確認①（診断ポイント解説）、企業ヒアリング、診断書作成	8 人
R6. 7. 19	現場確認②、グループワーク等	
R6. 8. 9	省エネ提案（監修・発表）、企業との意見交換会、振り返り	

○トライアル専門家派遣

CO₂排出量削減計画策定研修の参加企業等に専門家を派遣し、実践的な計画策定・実行を支援するとともに、専門家のスキルアップを図った。

派遣先	内容
(株)平垣製作所	・参加専門家 3 人 ・開催日 R6. 9. 30、R6. 11. 25、R7. 1. 27
(株)小澤鉄工所	・参加専門家 3 人 ・開催日 R6. 10. 22、R6. 11. 26、R7. 1. 21
西光エンジニアリング(株)	・参加専門家 2 人 ・開催日 R6. 11. 22、R7. 1. 15、R6. 2. 20

(4) 温室効果ガス排出量算定支援事業費助成

中小企業者が導入する排出量算定サービス利用経費の一部を助成した。

- ・助成先 8 社（助成額 222 千円）

9 高度化資金貸付診断等事業

事業費 19,215,708 円

中小企業者が工場団地や共同店舗等を建設する高度化事業に対して、県からの委託に基づいて経営診断や助言を行った。

(1) 高度化資金貸付制度の概要

- ・貸付期間 20 年以内（うち据置期間 3 年以内）
- ・貸付利率 6 年度 0.80%
- ・貸付割合 貸付対象経費の 80%以内
- ・貸付先 事業協同組合、街づくり会社（三セク）等

(2) 高度化診断業務の概要

○診断件数

区分	実績	内容
新規貸付診断	2	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断
条件変更診断	2	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断
フォローアップ診断	26	・貸付から 1 事業年度経過後の投資効果の確認のための診断 ・条件変更診断後の事後助言（フォローアップ）
対象診断	0	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断
計	30	

○成績定期調査件数

区分	実績	内容
財務分析	42	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

10 設備貸与事業

事業費 16,183,627 円

小規模企業者等（原則として従業員 20 人以下）及び創業者を対象に、設備を割賦販売及びリースする事業を行ってきたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を終了した。その後は、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

令和 3 年度に完済済み。

(2) 延納・滞納債権（未収額）

（単位：千円）

項目	令和 5 年度末残		令和 6 年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	1 件	14,349	1 件	13,675
リース	0 件	0	0 件	0
計	1 件	14,349	1 件	13,675

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権（契約解除案件）

（単位：千円）

項目		令和 6 年度末 不良債権残	令和 6 年度回収等				令和 6 年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	2 件	0 件	0 件	(1) 件	1 件	1 件
	リース	1 件	0 件	0 件	(0) 件	1 件	0 件
	計	3 件	0 件	0 件	(1) 件	0 件	1 件
金額	割賦	8,289	0	0	2,400	917	4,972
	リース	20,020	0	0	0	20,020	0
	計	28,309	0	0	2,400	20,937	4,972

(4) 割賦未収金債権（契約解除案件）

令和 3 年度に完済済み。

11 設備資金貸付事業

事業費 1,192,228 円

小規模企業者等（原則として従業員 20 人以下）等及び創業者を対象に、設備導入に係る資金を貸し付ける事業を行ってきたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸付を終了した。その後は、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

正常債権（償還金）

（単位：千円）

項目	令和 6 年度末残	
	件数	金額
資金貸付	0 件	0

- 産学官連携や知財活用による新技術・新製品開発への支援
- 地域資源を活用した新商品やサービスの事業化、販路開拓の支援
- 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の事業管理機関受託

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

1 産学官技術交流促進事業

事業費 29,953,662 円

中小企業の技術的課題解決や事業化、企業ニーズと大学等の研究シーズの橋渡し、中小企業支援施策等の活用相談を行うため、技術コーディネーターを配置した。また、知的財産等の技術シーズの中小企業での利用促進や、海外展開を計画している中小企業等に対する外国出願を支援した。

(1) 技術コーディネーターの配置

研究開発支援、産学連携、知財に関するコーディネーターを配置し、助成対象事業の事業化に向けた支援、技術相談への対応、県試験研究機関や県内大学の技術シーズの橋渡しを行った。

- ・ 中小企業の技術課題等に対する相談対応 245 件

(2) 静岡県知的財産活用研究会の運営

大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業での利用促進を図る目的で「静岡県知的財産活用研究会」を運営し、情報提供、マッチング会を実施した。

- ・ 会員数 183 社

○ 知的財産マッチング会

マッチング先	開催日	内容
日本電信電話(株)	R6. 8. 2	・ シーズ提供 日本電信電話(株) ・ 個別相談 4 社
(一社)サインの森	R6. 10. 18	・ シーズ提供 日本電信電話(株) ・ 県内会員企業:5 社、他都道府県の会員企業 95 社
名城大学	R7. 2. 25 R7. 3. 5	・ シーズ提供 名城大学 ・ 個別相談 3 社

(3) 知的財産を活用した大学との連携

大手企業等が保有する開放特許等の技術シーズを活用した県内大学生によるビジネスアイデア大会を金融機関と連携して開催するとともに、中小企業とのマッチングを行って、その事業化を後押しした。

- ・ 第 9 回知財活用アイデアプレゼン大会 (R6. 11. 15 開催)

会場 静岡信用金庫草薙支店 研修センター

最優秀賞 静岡県立大学、優秀賞 静岡文化芸術大学 2 チーム、審査員特別賞 静岡文化芸術大学

(4) 事業プロデューサーの配置

事業プロデューサーを配置し、今後の成長が期待できる製品等の知財戦略や事業計画についてアドバイスを行い、3 件の事業化を支援した。

- ・ (株)ニチワ (沼津市) 防災用エアーマットの事業化
- ・ (有)リード創研 (焼津市) 磨きを極める弾性砥石の事業化
- ・ (株)平垣製作所 (静岡市) 医師の要望に沿った外科用医療器具の事業化

(5) 外国出願支援事業

特許、実用新案、意匠、商標及び冒認対策商標を外国特許庁へ出願する中小企業に対し、出願手数料、代理人費用、翻訳費等の出願にかかる経費の一部を助成した。

区分	件数	助成額 (千円)
特許	4 件	5,245
商標	0 件	0

2 地域ビジネス応援事業

事業費 583,690 円

地域の活性化を応援する目的で、県内の中小企業者、特定非営利活動法人が行う新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓に積極的に取り組む事業を支援した。

(1) 販売戦略構築支援型助成事業

産業財団が実施した販売戦略サポート委員会で受けた助言を具体化するため、中小企業が取り組む事業に助成金を交付した。

・補助率 2/3 (限度額 500 千円)

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
(株)季咲亭	静岡市	「静岡めんま」販売拡大のための WEB サイトリニューアル	500

(2) 静岡県女性経営者団体支援事業

県内企業の女性経営者・女性管理者が活躍できる企業を支援する静岡県女性経営者団体「A・NE・GO (Assist Next Go)」の活動を支援した。

3 成長型中小企業等研究開発支援事業

事業費 114,621,045 円

経済産業省「成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業)」の事業管理機関となり、中小企業と大学等が共同して実施する研究開発を間接補助した。

(1) TENTOK(株) (静岡大学との共同研究、3 か年計画の 3 年目)

○研究テーマ

製紙技術を応用したマイクロ微細化セルロース繊維によるガラス繊維強化樹脂代替材料の製造プロセスの研究開発

○3 年目の実績

現行の小型射出成形機において、薄膜フィルム成形、X 線 CT 画像と画像解析ソフトの活用により、MC/PP 複合ペレット中のセルロース分散状態の可視化評価および、数値化評価方法を確立し、その結果とダンベル試験片の衝撃強度および曲げ弾性率との相関が高いことを確認した。

また、複合ペレットの中量試作機によるペレット製造条件の最適化を行うとともに量産体制を整えた。

(2) S-Bridges(株) (静岡大学との共同研究、3 か年計画の 1 年目)

○研究テーマ

植物の葉に含まれる未活用成分を全て有効活用するためのシステム開発

○1 年目の実績

植物成分を抽出するための「酵素処理⇒粉碎・抽出⇒分離」プロセスを連続で稼働することができる小型と中型の装置を作成し、試作を開始した。

また、既存酵素を混ぜ合わせた酵素により茶殻タンパク質回収率を向上させた。これを指標にしながら、植物素材からの成分抽出に適正な独自酵素の開発を開始した。さらに、Cell breaker® システムから稼働状況データの取得および各種装置で分析し得られたデータを蓄積し、可視化分析するためのソフトウェアを開発した。

公4 フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト

事業費 154,030 千円 (159,544 千円)

- 食品関連産業の振興
- 化粧品関連産業の振興
- ヘルスケア関連産業の振興

静岡県が策定したフーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画に基づき「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」を目指して、機能性表示食品や化粧品の開発、ヘルスケアサービスの開発促進に取り組んだ。

1 食品産業振興事業

事業費 76,940,897 円

フードテックの活用や科学的根拠に基づく高付加価値の製品開発、成果品等の販路開拓、関連情報・成果の情報発信等により食品産業の振興を図った。

(1) プロジェクト参画自治体との連携（静岡市、焼津市、藤枝市）

参画自治体や静岡県と連携して、商談会やセミナーを開催した。また、ホームページ及びメールマガジン等により関連情報や活動成果等を発信した。

○食品バイヤーとの商談会 ※1か月後調査の実績

開催日	場所	参加企業		マッチング	商談成立	サンプル送付	商談中
		バイヤー	申込事業				
R6. 6. 28	藤枝市	15 社	22 社	19 社 82 件	6 件	13 件	31 件
R6. 8. 22	焼津市	13 社	23 社	18 社 54 件	8 件	4 件	22 件
R6. 11. 7	静岡市	29 社	55 社	51 社 176 件	8 件	30 件	70 件

○セミナー、PR 活動

- ・商談会ノウハウセミナー 商談会提案力アップのポイント (R6. 5. 13) 参加者 21 人
商談会に向けた効果的な準備とバイヤーへのアプローチ方法を具体的に解説
- ・ふじえだ産業祭 2024 (R6. 10. 26～27)
未利用食材を活用した食のアップサイクル商品に関する試食・アンケート 回答者 343 人
- ・クラスター産業分野支援貸付の確認作業 34 件 79 億 3,000 万円

(2) コーディネーター、アドバイザーによるビジネスマッチング

○相談対応

(単位:件)

商品開発	工程改善	販路促進	情報提供	機能性支援	助成金支援	その他	計
512	20	1,871	2,432	560	327	753	6,475

○サイエンスアドバイザー、販路開拓アドバイザーの活動

- ・県内食材の機能性素材成分を分析し、そのデータベース化を図った。
GABA、イミダゾールジペプチド、ケルセチン、ビタミンD、カルシウム、リン 計 70 検体
- ・産官学民金、各種クラスターとの連携促進
AOI、MaOI、ChaOI、静岡市海洋産業クラスター協議会など関連プロジェクトへの支援（審査での協力、企業支援、セミナー共催）
- ・成果品等販売支援 延べ 86 件、31 社 64 品目（水産加工品、菓子、調味料、飲料ほか）

(3) 展示会出展

(単位：千円)

展示会	開催場所	出展企業	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
メイカングループ 総合食品展示商談会	アクトシティ浜松 (R6. 7. 12)	1 社	-	-	-
北洋銀行ものづくり サステナフェア 2024	アクセスサッポロ (R6. 7. 24)	2 社	2 件	0 件	0
FOOD FACTORY 2024	東京ビッグサイト (R6. 10. 9～11)	センター 出展	-	-	-
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田 (R6. 11. 8～9)	3 社	4 件	0 件	0
スーパーマーケット トレードショー	幕張メッセ (R7. 2. 12～14)	20 社	335 件	16 件	267
LIFE SUPPORT FAIR	東京都立産業貿易センター (R7. 2. 20)	5 社	-	-	-

<参考>令和5年度開催分の実績(1年後調査)

(単位：千円)

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
メイカングループ 総合食品展示商談会	アクトシティ浜松 (R5. 7. 7)	3 社	-	-	-
北洋銀行ものづくり サステナフェア 2023	アクセスサッポロ (R5. 7. 20)	2 社	2 件	0 件	0
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田 (R5. 11. 10～11)	3 社	10 件	3 件	15
FOOD STYLE Kyushu	マリンメッセ福岡 (R5. 11. 14～15)	5 社	57 件	9 件	3,969
国分中部(株)「2024 年 春夏商品展示会」	名古屋東急ホテル (R6. 1. 25)	2 社	12 件	6 件	1,363
スーパーマーケット トレードショー	幕張メッセ (R6. 2. 14～16)	20 社	537 件	73 件	19,710

(4) フードテック活用による事業化支援

- ・未利用食材の供給・活用に関する全県調査 2,000 社対象 回答数 453 件
- ・食のアップサイクル相談窓口開設 (R6. 10. 1)
- ・未利用食材活用セミナー&マッチング交流会 (R6. 11. 19) 参加者 116 人
- ・農林水産省フードテック官民協議会 フードテックミーティング
参加者 現地 49 人、オンライン 77 人

(5) 食の機能性に関するプラットフォーム構築

静岡県立大学と連携して、ヒト介入試験、システムティックレビューを支援した。

(単位：件、() 内は H27 年度から累計)

相談	ヒト介入試験	システムティックレビュー	機能性表示食品受理
482 (2,596)	2 (20)	6 (54)	11 (116)

- ・機能性表示食品セミナー(R6. 10. 29) 参加者 78 人
- 機能性表示食品制度の改正の解説、バイオ系先端産業創出プロジェクト紹介

(6)高付加価値型食品等開発推進事業

○食品等開発助成事業

食品・化成品（食品素材を使用した場合に限定）において、機能性食品等の製品化に向けた試作品開発、機能性評価を行う事業に対して助成した。（単位：千円）

申請者	所在地	事業概要	助成額
日研フード(株)	袋井市	緑茶フッ素、エピガロカテキンガレート(EGC g)を関与成分とする機能性表示食品の開発	972
(株)パシオス	磐田市	生鮮アスパラガスの機能性表示食品としての開発	280
(合) ウイズダムフード	藤枝市	静岡県産農産物を再利用した甘酒食品の開発	848
(有)丁子屋	静岡市	機能性表示食品を目指した冷凍すりおろし自然薯の開発	249
(株)white from green	富士市	機能性表示を目指した腸活プロテイン新商品の開発	100
(株)森島農園	浜松市	機能性成分 GAGA 含有量の多いモロヘイヤの商品化	256
富士山サーモン(株)	函南町	4つの機能性表示をもつサーモンの開発	389
合 計			3,094

○新事業創造研究会

オープンイノベーションの場を通じて、戦略計画に沿った各種テーマの商品開発に取り組む研究会の活動を支援した。（単位：千円）

部会(開発テーマ)	参加企業	取組内容	助成額
高栄養新型災害食開発部会 (フードテックの取組)	(株)味香美 まつりのあと(株)	災害時にも活用できる完全栄養食の開発	450
青パパイヤ健康食品開発部会 (フードロス削減、健康食の取組)	(株)夏越物産 片桐石材店	お茶の残渣を肥料に活用し栽培したスーパーフード、青パパイヤの商品開発	500
水産品未利用部位活用部会 (フードロス削減の取組)	(株)東海道シグマ (株)寺岡銈吉商店	水産品の未利用部位の利活用による価値創造	500
静岡発、インバウンド向け商品開発部会 (静岡の食文化発信)	(株)ふかくら (株)マルヒデ岩崎製茶	富士山の金型を使い、地元産の水産加工品や茶葉を活用したインバウンド向けハンドフードの開発	490
合計			1,940

■ 過去3年間に助成した事業の実績（販売実績は事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績
食品等開発助成事業	R3	6	12	61,129
	R4	4	4	17,601
	R5	5	2	4,829
新事業創造研究会	R3	5	5	7,402
	R4	4	9	984
	R5	4	4	2,266

2 食品産業人材育成事業

事業費 2,375,000 円

地域企業の新製品・サービスの開発を促進するため、食品加工技術や機能性食品素材、食品の安全性に関する知識などを総合的に身につけた中核人材を育成した。

○総合食品学講座

項目	内容
期間	令和6年7月25日～10月24日、全13日間
実施場所	静岡県立大学、静岡県工業技術研究所、静岡県産経会館
講座内容	A：食品の加工技術 (7 講座) B：食品の安心・安全技術 (6 講座) C：マーケティング・販売戦略 (7 講座) D：実習 (5 講座) E：グループ活動 (21 時間)
受講者数	一括受講生 21 人、個別受講生 73 人 (個人修了認定者 20 人)

■ 本講座総合評価（一括受講生対象 回収人数 16 人）

年度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
令和6年度	10 人 (63%)	6 人 (37%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
令和5年度	14 人 (61%)	9 人 (39%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)

3 化粧品産業振興事業

事業費 19,098,000 円

新製品開発の支援や企業からの相談対応、助成事業の有効活用、ビジネスマッチングに関するコーディネート等により、化粧品や付加価値の高い化成品等の事業化を図った。

(1) フォーラム・セミナー開催

○コスメティックフォーラム（R6.11.25、グランディエール プケトーカイ）

- ・ 目 的 専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介
- ・ 参加者 85 人、展示 10 社
- ・ 内 容 説明1 化粧品OEM・ODMの受注拡大支援の取組
講演1 ヒット商品を生み出すメーカーの企画開発力
講演2 差別化を実現する尖った商品の開発プロセス
地域資源を生かした新しい化粧品開発について

(2) 化粧品PR、展示会出展

○しずおかコスメマルシェ in ハンズ静岡（R6.8.26～9.3）

- ・ 一般消費者に対する静岡県産の化粧品PRと即売
- ・ 参加企業 7 社、商品購入数 196 点、購入額 362 千円

○展示会出展（化粧品、化粧品素材、機械メーカーの販路開拓） ※開催直後の実績（単位：千円）

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
化粧品開発展 2025 (R7.1.15～17)	東京ビッグサイト	5 社	63	1	0

<参考> 令和5年度開催分の実績（1年後調査）

化粧品開発展 2024 (R6.1.17～19)	東京ビッグサイト	6 社	56	2	219
-----------------------------	----------	-----	----	---	-----

(3) 化粧品 OEM・ODM メーカーの受注支援

OEM・ODM メーカー情報冊子作成	50 社掲載、R6.9 改定（8 社追加）
OEM・ODM 受注拡大事業紹介	コスメティックフォーラム（再掲）

(4)化粧品等研究開発推進事業助成

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
フェイスラボ(株)	袋井市	静岡県産茶実外果皮の化粧品用原料及び化粧品の開発	1,190
(株)アイ・ピー・オー	島田市	高濃度植物性乳酸菌入り化粧品の改良及び新商品開発	1,219
(株)RAPHAS JAPAN	静岡市	チャ葉エキス/乳酸菌配合マイクロニードルパッチの機能性解明と商品化	2,619
合計			5,028

■過去3年間に助成した事業の実績 (販売実績は事業終了翌年度からの累計額) (単位：件、千円)

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績
化粧品等研究開発推進事業 助成	R3	5	2	1,003
	R4	4	0	0
	R5	4	2	148

4 ヘルスケア産業振興事業

事業費 47,341,097 円

ヘルスケアビジネスの事業化を支援して、心身の健康保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸によるヘルスケアビジネスの創出につなげた。

(1)ヘルスケア産業事業化等支援事業

①プラットフォーム構築

産学官金のネットワーク構築と交流・ディスカッションを通じたオープンイノベーションを促進するフォーラム及びセミナーを開催した。

○FHCa01 フォーラム「フードテック―未来の食を考える」(R7.3.13、ホテルグランヒルズ静岡)

- ・ 目的 パーソナライズド・ヘルスケアの応用による商品開発及び令和6年度活動報告
- ・ 参加者 定員104人、展示7社
- ・ 内容 報告 令和6年度フーズセンター活動報告
- 基調講演 パーソナライズド栄養を活用した未来の食品開発の展望
- 講演1 臨床医が腸内細菌叢の動態を考慮する新しい時代の到来
- 講演2 腸内細菌調査のサービス化と腸内環境分析の紹介
- 講演3 腸内タイプ別パーソナルケア飲料「インナーガーデン」に関して
- 討論 パーソナライズド・ヘルスケアの可能性とビジネス
- 展示・交流 腸内環境検査キットやパーソナルケア食品等の展示・実演

(2)リビングラボの活用

リビングラボを設けて、企業の事業活動を支援した。

※リビングラボとは、Living（生活空間）とLab（実験室）を組み合わせた言葉。商品開発の場を日常の生活空間の近くに置き、生活者視点に立った新しいサービスや商品を生み出す手法のこと。

企業名	所在地	内容
インステイト(株)	沼津市	オフィス内福利厚生サービスの実証 1件
YK・コラボ(株)	浜松市	介護施設における利用者実証 1件
ニュートラルポジションTC	静岡市	産業イベントにおける展示及び消費者調査 1件
花精化学工業(株)	静岡市	介護施設における利用者、介助者に対する可能性調査 1件
(有)ラ・ヴォ・ラケ	沼津市	アップサイクル商品に関する試食・意見聴取 1件

(3)ヘルスケアビジネス事業計画作成支援

○ウェルビーイング産業創出キックオフセミナー（R6.7.12、静岡県産業経済会館）

- ・目的 ヘルスケアビジネス事業化に向けた企業の取組を促進
- ・参加者 73人
- ・内容 講演1 ヘルスケア産業施策の現状と今後について
講演2 変人とウェルビーイング
発表 企業事例発表2社

○異業種交流会・アイデアソン（R6.8.5、静岡県産業経済会館）

- ・目的 異業種交流により新しいビジネスモデル創出のヒントを探る
- ・参加者 31人
- ・内容 異業種からなるグループによるワークショップ

○ウェルビーイングビジネス事業計画作成支援講座

項目	内容
期間	令和6年9月3日～11月22日、全5日間
実施場所	静岡県産経会館
講座内容	第1回：新規事業を進める基礎を知る (2講座) 第2回：ウェルビーイングビジネスに必要な要素を学ぶ (2講座) 第3回：ウェルビーイングビジネスに必要なポイントを考える (2講座) 第4回：ウェルビーイングビジネスをうまく伝える (1講座) 第5回：ウェルビーイングビジネスを発表して評価を聴く (発表会) 終了後：個別フォローアップ
受講者数	一括受講生 9人、個別受講生 2人

(4)販路の開拓

(単位：千円)

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
通販食品展示商談会	東京交通会館 (R6.10.22～23)	14社	172件	2件	0
FOOD STYLE Kansai	インテックス大阪 (R7.1.22～23)	9社	106件	1件	23
しずおか・かながわ 広域商談会	プラサヴェルデ (R7.2.20)	70社	247件	19件	390
Care Show Japan	東京ビッグサイト (R7.2.26～28)	3社	43件	3件	3,149

<参考>令和5年度開催分の実績（1年後調査）

(単位：千円)

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
健康・未病産業展	東京ビッグサイト (R5.8.2～4)	3社	39件	2件	4,543
グルメ&ダイニングス スタイルショー秋2023	東京ビッグサイト (R5.9.6～8)	6社	131件	18件	1,592
通販食品展示商談会	東京交通会館 (R5.10.24～25)	12社	158件	21件	200
しずおか・かながわ広 域商談会（半年後調査）	プラサヴェルデ (R6.2.20)	63社	228件	21件	381

○首都圏でのテストマーケティング

事業概要	業者に委託し、県内食品に対しバイヤーから助言を受けるとともに、首都圏百貨店内の店舗でテスト販売し、テストマーケティングを実施（商品のブラッシュアップ）
実施場所	京王百貨店新百合丘オーパ店（神奈川県川崎市）
実施期間	R6 年 4 月～R7 年 2 月
参加社数	目利会 17 社 21 品、テスト販売 新規 9 社 10 品
売上実績	36 点、31,842 円

○プロジェクト関連商品の販売促進

事業概要	機能性表示食品等プロジェクト成果品の販売促進のため、県内ドッグストアにてテスト販売を実施
実施場所	杏林堂薬局（浜松志都呂店・和田店）杏林堂ドラッグストア（藤枝駅北店、島田駅南店、富士宮浅間店、富士厚原店）
実施期間	R6 年 11 月 5 日～R6 年 12 月 2 日
参加社数	8 社 9 品
売上実績	182 点、96,494 円

(5)ヘルスケア産業振興助成事業

加工食品の海外向け商品開発や海外販路開拓・拡大及び新たなヘルスケアサービスや製品の事業化のために行う可能性調査又は実証に対して助成した。

○加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
(有)山平水産	沼津市	シンガポールにおける「おだし文化」の創造	908
丸福製茶(株)	静岡市	Road to Japanese tea ‘UMAMI’	1,440
ニチフリ食品(株)	静岡市	米国向けふりかけの開発及び販路拡大	577
合計			2,925

○ヘルスケアビジネス事業化促進助成金

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
インステイト(株)	沼津市	クライオストレッチの事業化実証	4,913

■過去3年間に助成した事業の実績（販売実績は事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績
加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金	R3	2	6	917
	R4	2	3	1,710
	R5	2	2	648
ヘルスケアビジネス事業化促進助成金	R3	—	—	—
	R4	8	10	132,646
	R5	6	3	7,440

○ その他の事項

静岡県信用保証協会との連携

産業財団は、平成 30 年 8 月 1 日、県信用保証協会との間で「中小企業への相互連携による伴走支援に関する覚書」を締結し、相互に協力して中小企業に対して伴走支援を実施することとした。

（令和 6 年度の活動内容）

- ・ 中小企業支援連絡会議（令和 6 年 5 月 24 日）を開催し、連携推進に関する協議及び情報交換を行った。（オブザーバー 静岡県）
- ・ 産業財団が主催する創業者向けセミナーの参加者及び産業財団に資金相談があった創業（予定）者に対し、有利な融資制度「開業パワーアップ支援資金（開業パワーアップ S）」を紹介した。
「創業スキルアップサロン」開催時における信用保証協会職員による制度紹介（3 回）
- ・ 信用保証協会の支援先 1 社に対して、取引・販路開拓支援を行った。
- ・ 「しずおか・かながわ広域商談会」（R7.2.20 開催）の協力機関として信用保証協会が参画し、受注企業の募集や当日の運営業務の一部を担当した。